

学校関係者評価報告書（令和6年度）

令和6年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和6年11月28日（木）

学校関係者評価委員：企業委員2名、卒業生委員2名、地域住民委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 ・教育理念や育成人材像は、しっかりと定められている。	・企業が求める人材像や入学生のニーズは、時代とともに変化している。今後も、その変化やニーズに対応する教育に取り組んでいく。
(2)学校運営 ・各地に姉妹校があり、時代に即した全国的に共通する意思決定が行われている。	・各部署の情報システム化を一層推進し、業務の更なる効率化を図っていく。
(3)教育活動 ・カリキュラム検討委員会や教育課程編成委員会が設置されており、毎年、カリキュラムの検討・見直しや、業界ニーズの分析・検討が行われている。	・社会に出て対人関係に苦慮する者が増えているように感じるため、対人関係構築に役立つ取り組みをもっと行ってほしい。（改善：現在実施しているグループディスカッションやグループワークの機会を増やしていく） ・インターンシップは企業と学生双方にメリットがあるため、もっと積極的に参加させたほうがよい。（改善：令和8年度の単位制移行に合わせ、インターンシップを単位認定する仕組みを検討する）
(4)学修成果 ・就職希望者全員内定や情報処理国家試験の合格実績県内 No.1 など、とても高い成果を上げている。更なる高みを目指してほしい。	・卒業後の社会的な活躍やキャリア形成への効果あまり把握できていないため、アンケート実施などを検討する。
(5)学生支援 ・経済的支援を含めて、十分な学生支援が行われていると評価できる。	・次年度は学校独自の奨学金制度を見直し、更なる支援の充実を図る。 ・卒業生支援の一環として、今年度中に同窓会を開催する。
(6)教育環境 ・教育環境については、教育上の必要性に十分対応できるよう計画的に整備されており、適切に運営されている。また、トイレや空調設備の更新工事も実施されており、学生が過ごしやすい環境になっている。	・今後も設備や施設は優先順位を考慮し、段階的に改修工事を進めていく。

<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われており、特に問題はない。 	
<p>(8) 財務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健全な財務状態が維持されており、特に問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、経費節減に努めるとともに、教育の質向上に向けた学校運営を行っていく。 ・18歳人口減少や大学進学率増加により大変だと思うが、IT教育の伝統校として頑張っていたきたい。
<p>(9) 法令等の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと取り組んでおり、特に問題はない。 	
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと取り組んでおり、特に問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域(近隣住民)の方を対象としたパソコン講座などを検討する。

以上